

安全上の注意
● 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取り付けをおこなってください。
● ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをするると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。
お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。
絵表示の例
● 記号は行為を禁止する内容を告げるものです。
● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

警告
● 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● 交流 100V 以外では使用しないこと
● レンジフードの壁への埋め込みはしないこと
● アースを確実に取り付けること
● レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用し可燃物を覆うこと
● 排気工事をされる場合は、建築基準法(同施行令)および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
● 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けること
● メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付けすること
● レンジフードは、薄板の金属部(壁内ラス網など)と接触しないよう取り付けすること
● 自然排気用のストロープを使用するときは、空気の取入口(給気口)により十分給気される配慮をすること
● 排気口が室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起すおそれがあります

注意
● 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと
● 周囲温度が40℃以上になるところには取り付けないこと
● 運転中は、指や物を絶対に入れないこと
● 取り扱いは、必ず厚手の手袋をする
● レンジフードの取り付けは、十分な強度のあるところを選んで確実におこなうこと
● 落下によりけがをするおそれがあります
● 部品の取り付けは確実におこなうこと
● 落下によりけがをするおそれがあります

取り付け上のお願
● 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者がおこなう必要があります。
● 大工事【設置のための地下工事等】
● 配線工事【コンセントの設置、コンセント・コネクタ利用以外の配線接続等】
● 管工事【ダクト配管およびレンジフードからのダクト接続等】
● 流通業者(販売店)を通じて組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別しておこなってください。
● ダクトの不燃処理について
● 調理機器の幅はレンジフードの幅以内のものをご使用ください。
● 屋外壁面の排気出口に取り付けるベントキャップまたはパイプフードの通気抵抗は400m²/h 時 50Pa 以下のものをご使用ください。
● レンジフードの取付面は、石膏ボード等の厚さを確認し、取付用座付ねじが確実に壁面に固定されることを確認してください。
● レンジフードは調理機器の真上に設置してください。
● レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取り付けしないでください。
● 製品仕様を改造してのご使用はおやめください。
● 部屋の中央で調理される場合は、油煙が排集されませんので、お台所の全体換気のために、他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。
● 建物が密閉されている場合は、約400cm³程度の空気取入口を設けてください。
● 寒い地域ではダクトが結露しレンジフード内に結露水が流れる場合がありますので断熱材を巻くなどの対応をしてください。
● ダクトには必ず屋外側に向けて下り配を設けてください(目安：勾配1/100〜1/50程度)。雨水の浸入や結露水の逆流の原因になります。
● 汚れを除去する際は、シンナー等の有機溶剤を使用しないでください。塗装面が変色したり、はがれたりすることがあります。

取り付け前の調査と準備
警告
● 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● レンジフードの壁への埋め込みはしないこと
● レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用し可燃物を覆うこと
● 排気工事をされる場合は、建築基準法(同施行令)および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
● レンジフードは、薄板の金属部(壁内ラス網など)と接触しないよう取り付けすること
● 周囲温度が40℃以上になるところには取り付けないこと
● 取り扱いは、必ず厚手の手袋をする
● レンジフードの取り付けは、十分な強度のあるところを選んで確実におこなうこと
● 落下によりけがをするおそれがあります
1 取付面の強度確認
2 別売部品の準備
3 標準取付法
4 電源コンセント・ブレーカー

付属品
● 座付ねじ(φ5.1×45) 4本
● 引掛ねじ(φ5×35) 2本
● ソフトテープ 1本
● 排気口 1個
● 前蓋 1枚
● 前蓋取付線 1個
● 吊り金具 2個
● L形ダクト
● 横幕板
● 別売部品の準備
● 各部のなまえ
● 製品寸法図

1. 付属品の確認
注意
● 取り扱いは、必ず厚手の手袋をすること
● 梱包箱から付属品を取り出し、右上頂の付属品一覧により不足がないか確認します。
お願
● 取付作業の際はキズ・破損のないよう十分注意してください。
2. 本体の準備
1 吊り金具を取り付けます。
2 前蓋取付線を取り付けます。
3. 排気方向の決定
警告
● レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用し可燃物を覆うこと
● 排気工事をされる場合は、建築基準法(同施行令)および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
● メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付けすること
● 漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります
注意
● 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと
● 周囲温度が40℃以上になるところには取り付けないこと
1 製品寸法図を参照し、事前に管工事業者(法的有資格者)へ壁穴の開口を依頼してください。
2 φ150のステンレスダクト、またはパイプダクトを壁の開口にレンジフードの上部に突き出すようにセットして開閉を仕上げてください。
3 上方排気の場合
4 側方排気および後方排気の場合

4. 排気用部品の準備
5. 本体の取り付け
警告
● レンジフードの取り付けは、十分な強度のあるところを選んで確実におこなうこと
● 部品の取り付けは確実におこなうこと
● 落下によりけがをするおそれがあります
お願
● レンジフードの前後および左右方向の水平を確実にだててください。
1 だるま穴用座付ねじ2本と引掛ねじ2本を壁面にねじ込みます。
2 本体を引掛ねじ固定します。
3 排気口とダクトの接続
4 排気口の設置面の確認
5. 本体の取り付け
6. 電気配線
警告
● 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● 交流 100V 以外では使用しないこと
● アースを確実に取り付けること
● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
1 アース工事(D種接地工事)をおこないます。
2 分電盤のブレーカーを「切」にし、電源プラグをコンセントに差し込みます。
8. 横幕板と前蓋の取り付け
● 横幕板(別売品)を使用する場合
1 横幕板を固定します。
2 横幕板に付属している丸木ねじを壁面に固定します。

6. ダクトと排気用部品の接続
7. 電気配線
8. 横幕板と前蓋の取り付け
9. 整流板の取り付け
10. 試運転
注意
● 運転中は、指や物を絶対に入れないこと
11. お客様への説明
● 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
● 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様へお渡しください。
【製造元】FUJIOH 富士工業株式会社
本社・営業部 〒252-0206 相模原市中央区富士野2丁目1番9号
TEL 042(768)3754 (営業部)

天井への取り付けかた (別売品のセンターパーツが必要です) 「安全上のご注意」「取り付け上のお願ひ」は表面をご覧ください。

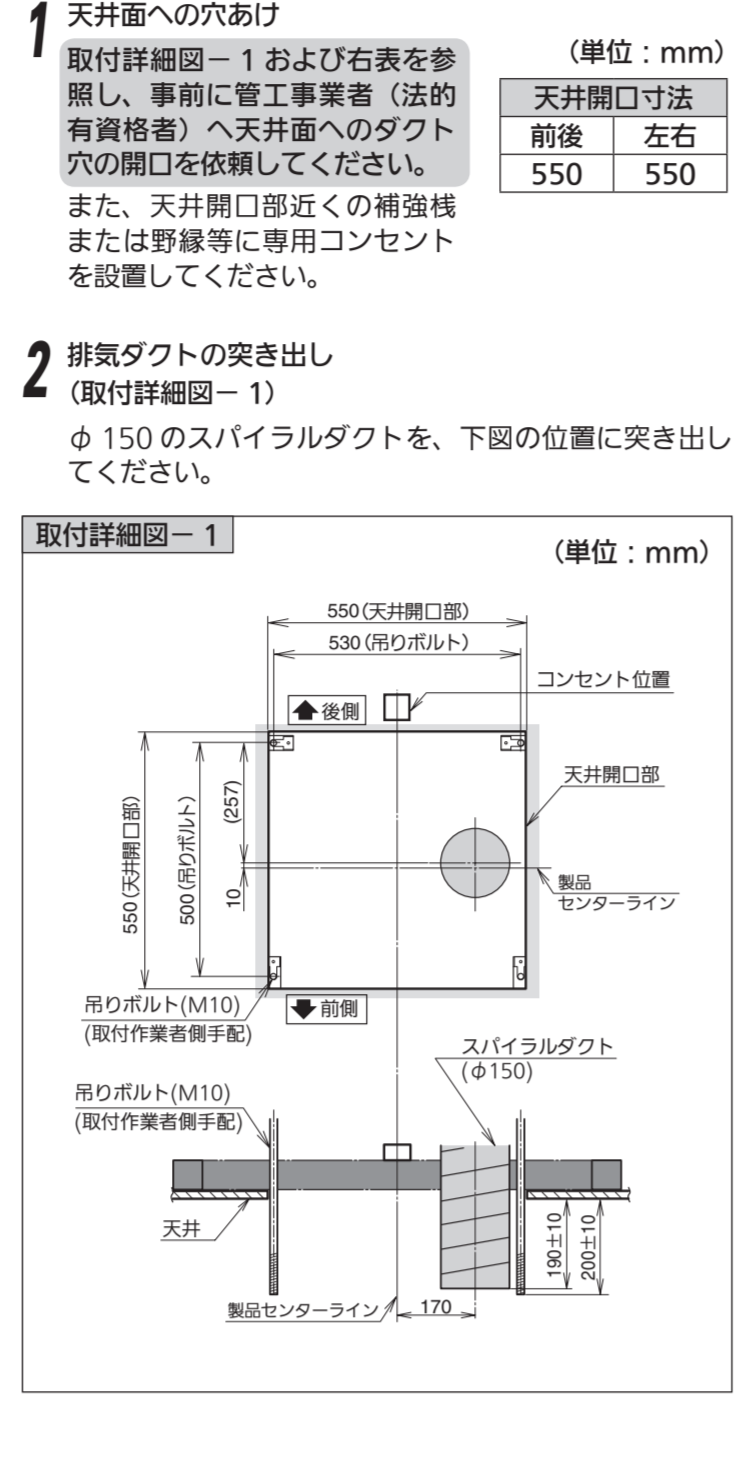
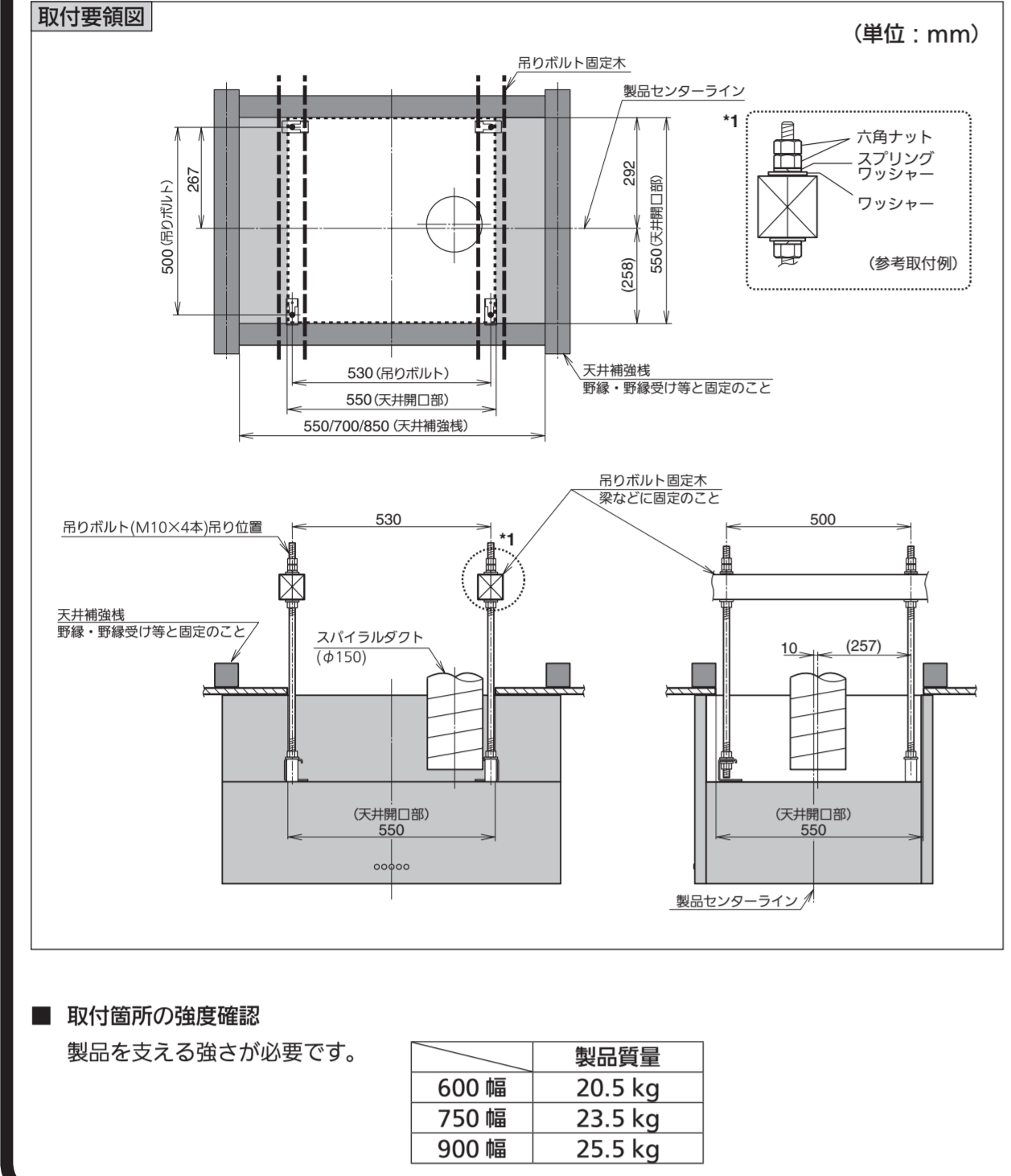
取り付け前の調査と準備

警告

- 修理技術者以外の人、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
- レンジフードの壁への埋め込みはしないこと

注意

- レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を10cm以上離すが、不燃材料を使用してください
- レンジフードは、薄板の金属部(壁内ラシ網など)と接触しないよう取り付けると
- 周囲温度が40℃以上になるところには取り付けないこと



3 吊りボルトの取り付け (取付詳細図-2)

M10の吊りボルトを4本、天井内の梁などの頑健な部分に固定します。固定ピッチは下表の通りです。

固定ピッチ	
前後	左右
500	530

※吊りボルトは、M10を用いてください。

※吊りボルトは、製品を支える十分な強度を確保してください。必要となる強度は、建物の条件、耐震クラスなどにより異なります。

お願い

M10吊りボルト(4本)、M10ワッシャー(8枚)およびナット(8個)は取付作業側にて手配してください。

4 標準取付寸法

本製品の標準取付寸法は、調理機器の上面から製品の下端まで80cmです。

※火災予防条件では、グリルフィルターの下端が調理機器の真上80cm以上必要となります。

5 電源コンセント・ブレーカー

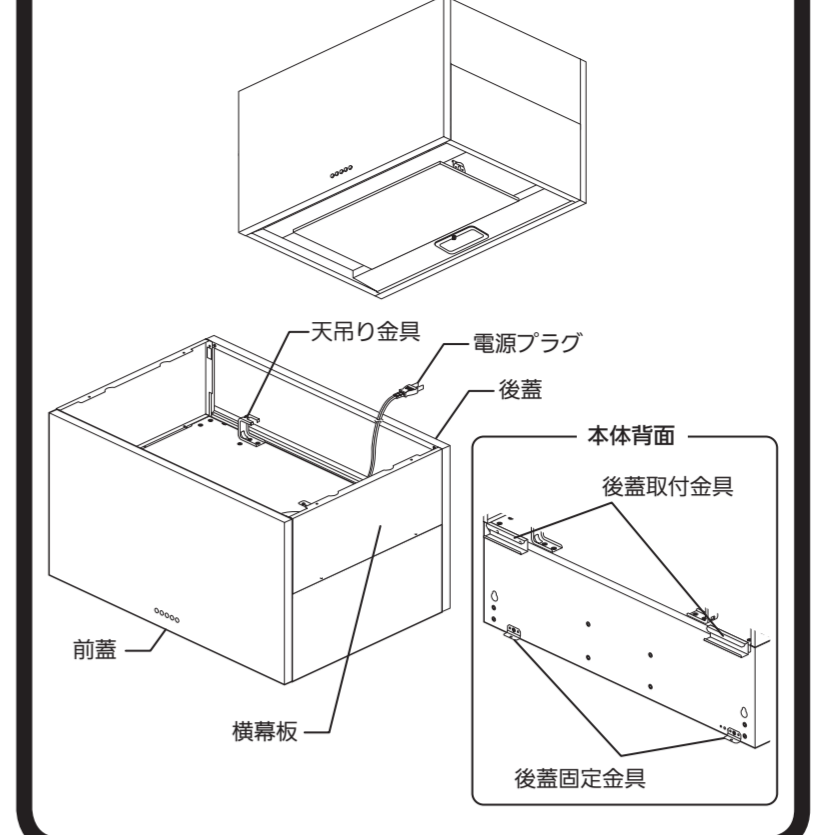
電源コンセント・ブレーカーは専用のものを設置してください。(交流・単相100V)

※コンセントは、JIS C 8303 2極差込接続器 15A 125V をご使用ください。

お願い

必ずアース工事(D種接地工事)をしてください。レンジフードが誤作動することがあります。

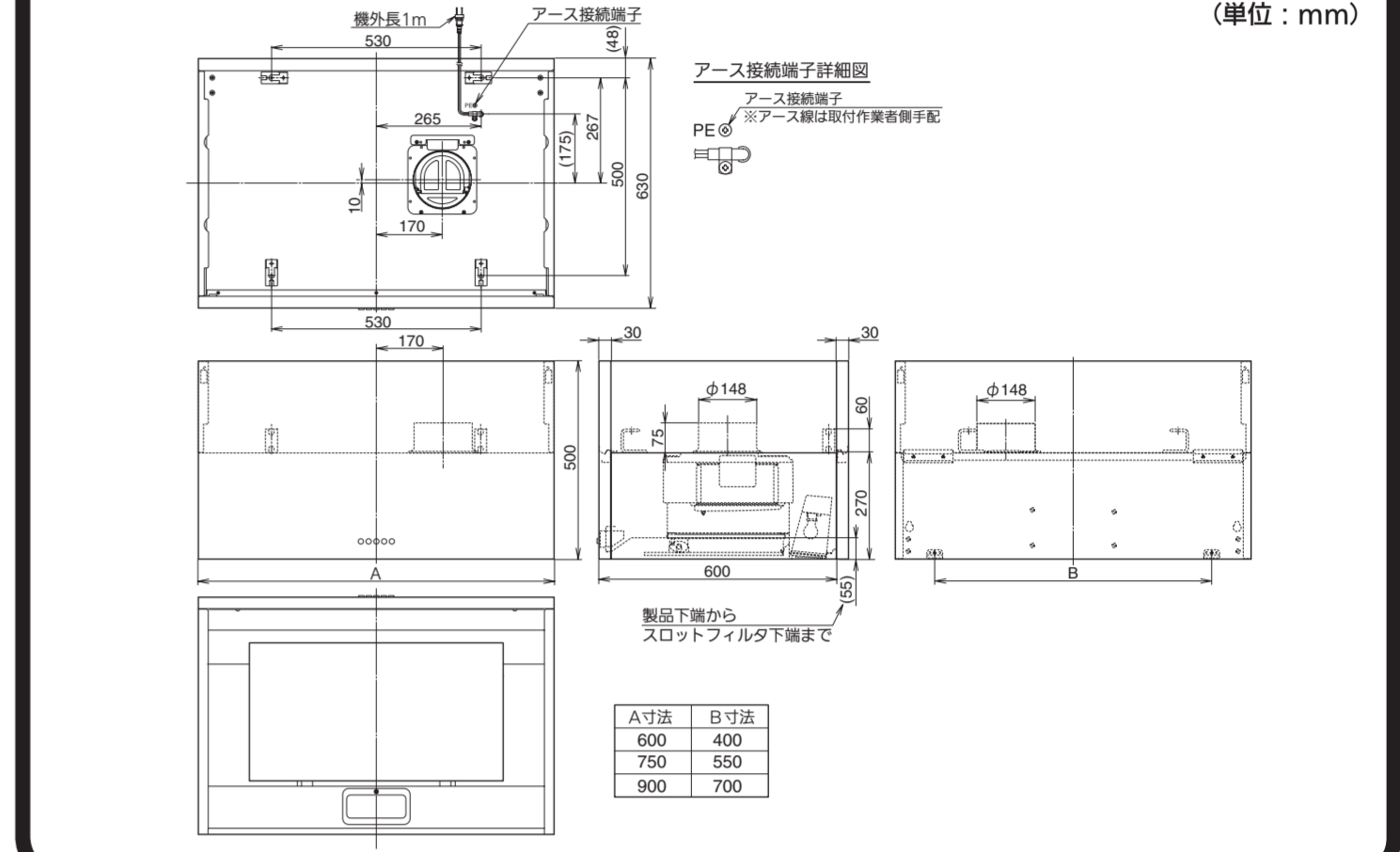
各部のなまえ



別売品

- 天井取付用センターパーツ
- 本体後面の目隠しに使用します。天井取付の場合に必要となります。
- | パーツ内容 | |
|----------------|----|
| ●後蓋 | 1枚 |
| ●横隔板 | 2枚 |
| ●後蓋取付金具 | 2個 |
| ●後蓋固定金具 | 2個 |
| ●天井吊り金具 | 4個 |
| ●低架ねじ(M4×8) | 6本 |
| ●皿ねじ(M4×10) | 2本 |
| ●トラスねじ(M4×10) | 4本 |
| ●丸木ねじ(φ4.1×32) | 4本 |
| ●アルミテープ | 1本 |

製品寸法図



取り付けかた

1. 付属品の確認

注意

- 取り扱いは、必ず厚手の手袋をすること

梱包箱から付属品および別売品を取り出し、表面の付属品一覧および裏面の別売品一覧により不足がないか確認します。

※付属品の吊り金具、座付ねじ(φ5.1×45)、引掛けねじ(φ5×35)は天井への取り付けには使用しません。

お願い

取付作業の際はキズ・破損のないよう十分注意してください。

2. 取付準備

警告

- レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を10cm以上離すが、不燃材料を使用してください
- 排気工事をされる場合は、建築基準法(同施行令)および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付けすること
- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと(浴室用換気扇をお使いください)
- 周囲温度が40℃以上になるところには取り付けないこと

お願い

●床面を傷つけないよう、保護シート等を敷いた上で作業をおこなってください。

※「1. 付属品の確認」の項で取り出した排気口を用います。

3. 本体の取り付け

注意

- レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実にすること
- 部品の取り付けは確実にすること

1 レンジフードの固定位置を決めます。 (図3-1)

吊りボルトにマジックペンなどで、天井から170mmの位置にマーカをつけてます。

2 ナットとワッシャーを吊りボルトにねじ込みます。 (図3-2)

M10のナットとワッシャー(取付作業側手配)を吊りボルトのマーカ位置までねじ込みます。

3 本体を吊りボルトに固定します。 (図3-3)

1) 本体を持ち上げて4ヶ所の吊り金具に吊りボルトを差し込み、吊り金具を挟み込むように吊りボルト下側からM10のワッシャーとナット(取付作業側手配)でしっかりと締め付けます。

※ダクトに排気口を差し込みながら本体を取り付けてください。

2) アース(D種接地工事)を取ります。

3) 分電盤のブレーカーを「切」にし、電源プラグを天井裏などに設置したコンセントに差し込みます。

4 横隔板を固定します。 (図3-4)

丸木ねじ(φ4.1×32)各2本で横隔板を天井に固定します。

5. 電気配線

警告

- 修理技術者以外の人、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
- 交流100V以外では使用しないこと
- アースを確実に取り付けること
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと

1 アース工事(D種接地工事)をおこないます。

※アース線は取り付け作業側にて手配してください。

2 分電盤のブレーカーを「切」にし、電源プラグをコンセントに差し込みます。

(「3. 本体の取り付け」手順3の3)でおこなってください。

お願い

- 電源は専用のコンセント(2極差込接続器 15A、125V)およびブレーカーを設けてください。
- 「8. 試運転」までブレーカーは「入」にしないでください。

6. 後蓋・前蓋の取り付け

1 整流板をはずします。 (図6-1)

1) 整流板を両手で支え、少し押し上げるようにして整流板の左右にあるストッパーを押し、穴からはずします。

2) 整流板を両手で支えながら、下へゆっくりとおろします。

3) 整流板の後ろを奥にずらしてからそのまま手前に引き出して、整流板吊り金具から整流板引掛け金具をはずします。

※必ず左右同時にはずしてください。金具の変形の原因となります。

2 後蓋を本体に引っ掛けます。 (図6-2)

後蓋裏面のレールを本体の後蓋取付金具に図のように引っ掛け、本体側へ押し当てます。

3 後蓋を固定します。 (図6-3)

後蓋を上方に持ち上げ、皿ねじ(M4×10)2本で本体下側からしっかりと固定します。

4 前蓋を取り付けます。

1) 本体正面のスイッチ部を下に突き当たるようにまで下げます。(図6-4)

※スイッチ部が確実に下がっていることを確認してください。

2) 前蓋裏面のレールと前蓋にアルミテープを貼り付けます。(図6-5)

3) 前蓋裏面の取付ねじ2本を取りはずします。(図6-6)

4) 前蓋裏面のレールを本体の引掛け部に図のように引っ掛け、スイッチ部のボタンの位置が前蓋の穴と合っていることを確認し、本体側へ押し当てます。(図6-7)

5) 前蓋を上方に持ち上げ、3)で取りはずした取付ねじ2本で本体側からしっかりと固定します。(図6-8)

7. 整流板の取り付け

1 整流板を取り付けます。 (図7-1)

1) 整流板側左右の整流板引掛け金具を、本体の整流板吊り金具に確実に引っ掛けます(①)。

2) 整流板を両手で支えながら手前側を上方に持ち上げ、左右のストッパーを押しながらロップします(②)。

3) 整流板を軽く上下に動かしてみて確実に取り付けられたことを確認してください(③)。

1 排気口を取り付けます。 (図2-1)

排気口に付属品のソフトテープを貼り付けます。本体に付いている取付ねじ2本を差込み、排気口を本体上部の差込口に差し込み、取付ねじ2本で取り付けます。

※取付方向は右図を参照してください。

お願い

排気口を取り付ける際は、シャッターの閉く向きに注意してください。誤った取り付けの場合、排気不良や異音の原因となります。

2 天井吊り金具を取り付けます。 (図2-2)

フード天面に付いている取付ねじ各2本で、天井吊り金具を図のように取り付けます。

3 前蓋取付機を取り付けます。 (図2-2)

本体の天板前方にあらかじめ取り付けられているねじ3本を使用し、付属品の前蓋取付機を天板の右側位置に取り付けます。

4 後蓋取付金具と後蓋固定金具を取り付けます。 (図2-3)

1) 本体の後面上部2ヶ所に後蓋取付金具を低架ねじ(M4×8)各2本で取り付けます。

2) 本体の後面下部2ヶ所に後蓋固定金具を低架ねじ(M4×8)各1本で取り付けます。

5 横隔板を取り付けます。 (図2-4)

本体天面に横隔板2枚を図のように置き、トラスねじ(M4×10)各2本で横隔板を固定します。

4. ダクトと排気用部品の接続

お願い

ドリリングタッピングねじなどで排気口を固定する場合は、シャッターにねじが当たらないように図を参照してドリリングタッピングねじ使用範囲以内固定してください。(図4-1)

ドリリングタッピングねじ使用範囲(25mm以下のねじを使用してください。)

ドリリングタッピングねじ(25mm以下)

ドリリングタッピングねじ(25mm以上)

お願い

風漏れ防止のテーピング(アルミテープ)をおこないます。(図4-2)

8. 試運転

注意

- 運転中は、指や物を絶対に入れないこと

●分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。

●運転時、各連動の排気が正しくおこなわれていることを確認してください。

●異常な騒音、振動がないことを確認してください。

●屋外の排気出口から排気され、異音がないことを確認してください。

●取り付けまたは各種工事に発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。

9. お客様への説明

●取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。

●取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様へお渡しください。

【製造元】-FUJIOH- 富士工業株式会社

本社・営業部 〒252-0206 相模原市中央区淵野辺2丁目1番9号

TEL 042(768)3754 (営業部)